

2 本時の展開

	学習活動(○基本発問 ◎中心発問)	指導・援助
導入	<p>1 これまでに行った「友情、信頼」の道徳に書かれた振り返りから主題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のためにと考えることは大切だけど、自己満足が入ってくることもある。 ・上下関係を意識してしまうこともあるかもしれないけれどだからこそ認め合えることが大切だと思う。 	<p>・道徳教材「松葉杖」の振り返りを紹介し、友情、信頼についてどのように考えていたのか振り返り、本時取り扱う主題をつかめるようにする。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 友達とはどんなものか。 </div>	
展開前段	<p>2 資料を範読し、その気持ちに共感する。</p> <p>○感想を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が欲しいと思う気持ちに共感できる。 ・涙を流す赤おにがかわいそう。 ・青おにが旅に出てしまったところが悲しい。 <p>○赤おにと青おには「本当の友達」だと言えるのだろうか。</p> <p>《グループ交流》→《全体交流》</p> <p>〈本当の友達だと思う〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人とも相手のことを気遣っているし、涙を流している赤おには優しい。 ・青おには赤おにのことを大切に思っているからこそその行動で思いやりがある。 <p>〈本当の友達ではない〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤おには青おにのことを気遣っているが、自分を優先してしまっているところがある。 ・青おにだって人間と仲良くなる方法はあったはずで、そのことを諦めてしまっている。 <p>◎あなたにとって「友達」とはどんなものだと思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに一緒にいて嫌じゃない平等な関係が友達だと思う。【お互いに】 ・お互いに高め合えるように、いろいろなことを一緒にやってみようとする仲間のことだと思う。【～しあう】 ・相手の幸せを考えて、仲間のために行動できるのが友達だと思う。【相手のために】 	<p>・範読の際には、自分が気になったところなどに線を引きながら聞けるように指導しておく。</p> <p>・単にすごいではなく、根拠をもって話すことができるようにする。</p> <p>・心情円盤を用いて考えを話すことで両方の要素の割合を可視化し、そう思った理由を聞いていくことで生徒の思いを共有できるようにする。</p> <p>・グループで交流することで様々な考え方に触れ、自分の考えを広げ深めることができるようにする。</p> <p>【ネームプレート板書案】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> </div> <p>【研究内容1】について 確かな自己理解を図るために、自分はどうなことを大切にすべきを考えられるようにする。</p> <p>・友情を【お互いに】【～しあう】【相手のために】という3つの視点をもとに意見を位置付けられるようにする。</p>
展開後段	<p>3 これまでの自分を振り返り、この学習で考えさせられたことについて考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分はこれまでも、どうしても上下関係や立場の違いを意識してしまうことがあった。より良い友達関係を作っていくために、まずは一緒にやってみようという気持ちを大切にしていきたいと思えた。 	<p>・導入で取り上げた、これまでに友情について考えたことについてふれ、学習した内容を一般化できるようにする。</p> <p>【評価の視点】について 本時取り扱う価値について、自分なりの感じ方や経験とつないで考えている姿。</p>
終末	<p>4 振り返りを発表し、本時学習した内容について共感的な理解ができるようにする。</p>	<p>・仲間の考えを聞くことで、本時考えたい価値についての理解を深められるようにする。</p>